

## 保証書

この製品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、お買上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、修理をご依頼ください。裏面の保証規定により、無料で修理いたします。

※印欄の記入のない場合には、有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	MODEL RT-418		
保証期間	※お買上げ年月日		1年間
	年	月 日	
※ お客様の 氏名	〒	TEL.	
	氏名	様	
※ 販売店	TEL.		①

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

TEL 045(242)4375

**MARUHAMA**  
UHF/FMマルチバンドレシーバー

# MODEL RT-418

## 取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は、保証書とともに大切に保管してください。



	ページ
1. 特長	1
2. 初めてご使用になる前に	2
3. 付属品の取付け方法	2
4. 使用上のご注意	3
5. 各部の名称とはたらき	4
6. 使用方法	7
1. エリア指定での受信	7
2. マニュアル選局する場合	8
3. ダイレクト選局で受信する場合	9
4. プライオリティ受信する場合	10
5. メモリー機能について	11
6. 機能(FUNC)ボタン	12
7. 特殊コマンド	13
8. その他の機能	14
7. 受信周波数一覧	15
8. 主な仕様	16

情報受信機能をコンパクト・ボディに集約、ワイドな情報を超高感度でキャッチします。

しかも、最新のハイテク技術を導入したマイクロ・コンピュータ使用により、操作はいたって簡単です。

初めて受信機を操作される方も、ラジオ感覚でご使用になれます。

● 347～440MHzおよび760～944MHzのバンドを超高感度で受信するUHF/FM受信機です。

さらに、ワイドなバンドを12のエリア(6エリア×2バンド)に設定することにより、聴きたいエリアをワンタッチで選択できます。

● 超高速自動選局機能および自動選局スタート機能により、従来の受信機のような面倒な操作を解消しました。

電源を入れると直ちに自動選局を開始し、次々と電波をキャッチします。

● 制御チャンネル飛び越し機能およびチャンネルパスメモリー(最大16チャンネル)を実装していますので、自動選局中は、不要なチャンネルを受信することはありません。

● プライオリティ・チャンネルとして速度取締り現場連絡波(350.10MHz)をメモリーしています。

他のバンドを受信中でも、プライオリティ・チャンネルを優先受信します。

● チャンネルメモリー・ダイレクト受信・チャンネルステップ切換え・メモリーシークなど多機能を実装しています。

● 電源は本体内蔵のニッカド電池パックを使用していますので、電池の取り替えは不要です。

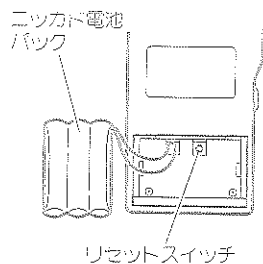
付属のACアダプター(充電器兼用)もご使用になれます。

● 便利なストップウォッチ機能やゲーム機能を実装しています。

## 2. 初めてご使用になる前に

1. ご購入後、初めてご使用になる前に、内蔵のニッカド電池を充電してください。

電源スイッチがOFFになっていることを確認し、付属のACアダプターを外部電源端子に差し込んで充電してください。(充電時間約12時間)



2. 充電が完了したら本体背面の電池蓋を外し、内部にあるリセットスイッチを細い棒で押してください。

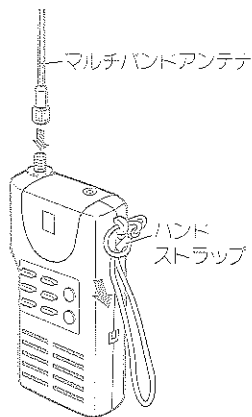
## 3. 付属品の取付け方法

1. アンテナの取付け

付属のマルチバンドアンテナをアンテナ端子にねじ込んで取付けます。

2. ハンドストラップの取付け

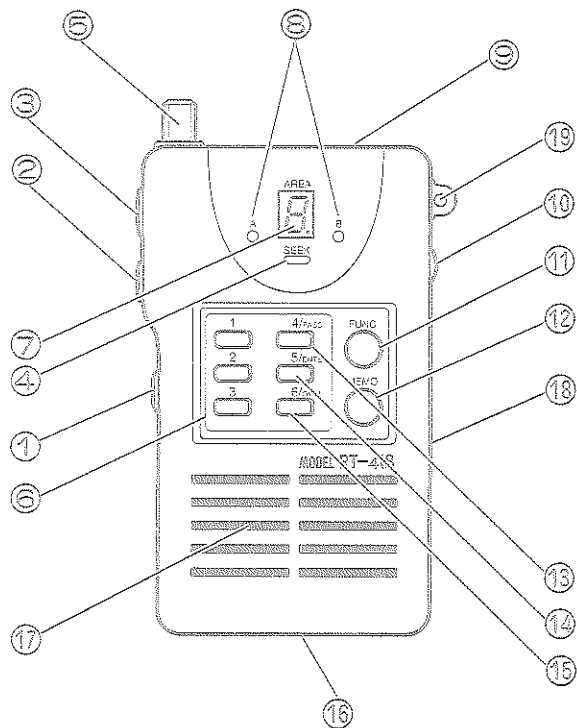
本体のハンドストラップ取付け穴に☒の様に挿して取付けます。



## 4. 使用上のご注意

1. 本機は精密部品を多数搭載しています。故障の原因になりますので、分解や改造はしないでください。また、急激な衝撃や振動を加えないでください。
2. 本機の外部電源電圧はDC12Vです。定格以外の電圧は絶対加えないでください。
3. ACアダプターなどの外部電源を接続したままで、ご使用になっている場合でも内蔵のニッカド電池に充電されますので、過充電にならない様にしてください。ご使用にならない場合は、ACアダプターなどの外部電源は外してください。
4. 本機を使用中に、雑音(ザー音)とは異なる信号音で受信状態になることがあります。この信号音は、デジタル通信や制御チャンネル、音声秘話装置などを使用した通信を受信した音で、本機の故障ではありません。デジタル化された通信を本機で受信しても音声で聴くことはできません。
5. 本機を高温・多湿になる場所や直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。故障や変形の原因になります。
6. テレビやラジオ・その他の無線局などの近くで使用されますと、これらの機器の影響を受けることがありますので、離れた場所でご使用ください。
7. 電波法により、本機で受信された無線および電話の内容や存在を第三者に漏らしたり行動に移したりすることが禁止されていますので、厳重に注意してください。

## 5. 各部の名称とはたらき



### ①電源スイッチ

電源をON/OFFします。

他のボタンとの組み合わせにより、プライオリティ受信・マルチバンドシーク等の\*特殊コマンド機能ができます。

\*P.11「使用方法 7.特殊コマンド」を参照

### ②モニター(MONI)ボタン

受信中……スケルチをOFFします。

電波が弱くなって、音声が悪くなる場合に押ししてください。

自動選局中…自動選局中にモニターボタンを押すと(自動選局が解除されて)手動選局モードになります。

その後はボタンを押すごとに、1ステップずつ上側のチャンネルを受信します。

### ③シーク(SEEK)ボタン

自動選局の開始ボタンです。

### ④シーク表示ランプ

自動選局中はランプが点滅します。

自動選局が停止または解除されると、ランプは消えます。

### ⑤アンテナ端子

SMA仕様のコネクタ付アンテナ端子です。

付属のマルチバンドアンテナを取付けます。

### ⑥エリア(1~6)選択ボタン

受信周波数範囲(エリア)の選択ボタンです。

聴きたいエリア番号(1~6)のボタンを押してください。

エリアボタンの1回押しでAバンド、2回押しでBバンドになります。

### ⑦エリア表示インジケータ

エリア選択ボタンにより指定されたエリアの番号(1~6)を表示します。

また、機能により周波数や時間を表示します。

### ⑨バンド表示ランプ

エリア選択ボタンにより指定されたバンド(AまたはB)のランプが点灯します。

### ⑩外部スピーカー(EXT.SP)端子

付属のイヤホンや別売の外部スピーカーなどを接続する時に使用します。

### ⑪音量調整ボリューム

### ⑫ファンクション(FUNC)：機能ボタン

ダイレクト受信・チャンネルステップの切換え・ディマー・メモリーシークなどをおこなう時に使用する機能ボタンです。

### ⑬メモリー(MEMO)ボタン

パスメモリー：自動選局時の飛び越しチャンネルを最大16チャンネルメモリーできます。

チャンネルメモリー：最大16チャンネルをAバンドのエリア6内にメモリーできます。

### ⑭パス(PASS)ボタン

メモリーボタンと組み合わせて、チャンネルパスメモリーします。

### ⑮エンター(ENTER)ボタン

メモリーボタンと組み合わせて、周波数表示などをします。

### ⑯オウン(OWN)ボタン

メモリーボタンと組み合わせて、チャンネルメモリーします。

### ⑰リセットスイッチ(電池ケース内部)

マイコンを初期化するスイッチです。

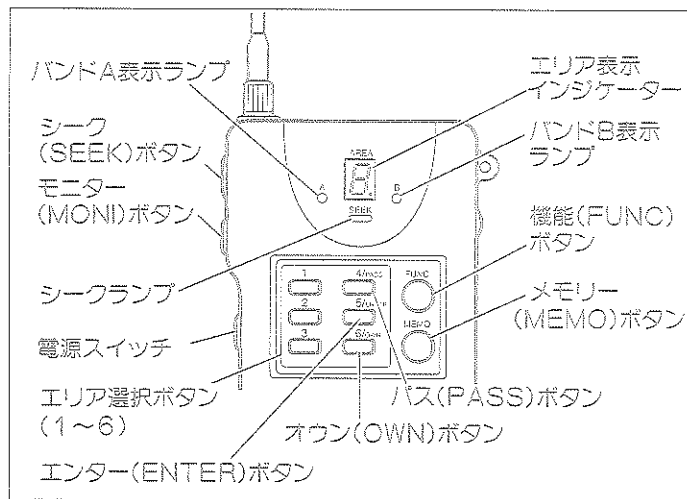
### ⑱内蔵スピーカー

### ⑲外部電源端子(DC12V)

付属のACアダプターを接続します。

### ⑳バンドストラップ取付け部

## 6. 使用方法



### 1. エリア(受信周波数範囲)指定での受信

①電源スイッチをONにします。

電源が入ると自動選局を開始します。

②エリア選択ボタンによりお聴きになりたいエリア番号(1~6)のボタンを押してください。

エリア選択ボタン(1~6)を押すと、エリア表示インジケーターに指定したエリア番号が表示されます。

③バンド(AまたはB)を指定します。

エリア選択ボタン1回押しでAバンド、2回押しでBバンドの指定になります。

バンドを指定すると指定されたバンド表示ランプ(AまたはB)が点灯します。

④エリア(バンド)を指定すると、自動選局スタート機能により指定したエリアの最初のチャンネルより、自動選局を開始し  
ます。

使用しているチャンネルがあると、そのチャンネルで自動選  
局を停止して、受信状態となります。

自動選局中はシークランプが点滅します。

電波を受信して自動選局が停止するとシークランプは消えま  
す。

⑤受信中のチャンネルが終了、または電波が非常に弱くなった  
場合は、次に使用しているチャンネルまで自動選局します。

⑥受信中の電波が弱くなり、音声途切れたりする場合は、モ  
ニターボタンを1回押してください。

モニターボタンを押すと、自動選局が解除されて、そのチャ  
ンネルで受信したままになります。

再び、自動選局させたい場合は、シークボタンを押してくだ  
さい。

## 2. マニュアル(手動)選局する場合

①「エリア指定での受信」の操作をおこなってください。

②モニターボタンを1回押してください。

モニターボタンを押すと自動選局が解除されて、マニュアル  
(手動)選局モードになります。

③その後は、モニターボタンを押すごとに、1ステップずつ上  
のチャンネルを受信します。

④自動選局させたい場合は、シークボタンを押してください。

## 3. ダイレクト選局で受信する場合

聴きたいチャンネル(周波数)をボタン操作により入力すると、  
そのチャンネルをダイレクト受信します。

受信可能な範囲は、760.00~944.00MHz(ハイバンド)および  
347.00~440.00MHz(ローバンド)の範囲内です。

①機能ボタンを押し、次にメモリーボタンを押すと、ダイレク  
ト選局モードになります。

機能ボタンを押すと、エリア表示インジケーターが(F)の点  
滅をし、さらにメモリーボタンを押すと\*数字が点滅します。

\*チャンネル(周波数)の100MHz帯の数字(3、4、7、8、9の  
いずれか)が表示されます。

②聴きたいチャンネル(周波数)をシークボタンおよびエンター  
ボタンにより入力します。

100MHz帯より順番に1桁ずつ(100MHz→10MHz→1MHz  
→100kHz→10kHzの順番)入力してください。

シークボタンを押すと、数字が変わり、モニターボタンを押  
すと次の桁に移動します。

例えば760.50MHzを入力する場合

シーク	⑦	モニター	シーク	⑧	モニター	シーク	⑨	モニター
	└─	100MHz帯	└─	10MHz帯	└─	1MHz帯	└─	
シーク	⑤	モニター	シーク	⑩	モニター			
	└─	100kHz帯	└─	10kHz帯	└─			

の順に入力します。

③モニターボタンを押して、入力したチャンネル(周波数)の確  
認をします。

④間違いがなければ、エンターボタンを押します。

エンターボタンを押すと、入力したチャンネル(周波数)で受  
信状態になります。

入力したチャンネルがハイバンドの場合は(H)、ローバンド  
の場合は(L)がエリア表示インジケーターに表示されます。

#### 4. プライオリティ受信する場合

—速度取締り現場連絡波(350.10MHz)の傍受—

##### 1. 他のチャンネルを受信しながら350.10MHzを受信する場合

①電源スイッチをOFFにします。

②シークボタンを押したままで電源スイッチをONにしてください。

電源が入ると自動的に3秒間隔で350.10MHzの信号検出を行います。

信号検出時は、インジケータに(P)を表示します。

③350.10MHzの信号があれば、インジケータに(P)を表示して、受信状態になります。

④350.1.MHzの信号が終了すると、受信前の状態にもどります。

\*プライオリティの信号検出時は、受信中の音声は3秒間隔で途切れますが、これは故障ではありません。

##### 2. 350.1.MHzのみ受信する場合

①電源スイッチをOFFにします。

②モニターボタンを押したままで電源スイッチをONにしてください。

電源が入るとインジケータに(P)を表示して、350.10MHzの受信待ち状態になります。

③350.10MHzの信号があれば、インジケータの(P)が点滅するとともに、アラーム音が鳴って、プライオリティ・チャンネルの受信をお知らせします。

##### 3. プライオリティ受信を解除する場合は、電源スイッチをOFFにしてください。

#### 5. メモリー機能について

受信中のチャンネルをメモリーするチャンネルメモリーと、制御チャンネルなど不要なチャンネルをパスするチャンネル/パスメモリーを実装しています。

##### 1. チャンネルメモリー

①受信中のチャンネルをメモリーバンク(A/バンドのエリア6)に登録します。

②メモリーボタンを押した後、オウンボタンを押してください。

ブザー音が鳴り、インジケータが(E)を表示します。

③最大16チャンネルメモリーできます。

##### 2. チャンネル/パスメモリー

①不要なチャンネルをパスメモリーすると、自動選局時にパスメモリーしたチャンネルを飛び越し選局します。

②メモリーボタンを押した後、パスボタンを押してください。ブザー音が鳴り、インジケータが(P)を表示します。

③最大16チャンネル/パスできます。

## 6. 機能 (FUNC) ボタン

機能ボタンとエリア選択ボタンの組み合わせにより、6種類の機能があります。

機能ボタンを押した後に、エリア選択ボタン(1~6)を押します。

### ①機能ボタン→エリア1ボタン

表示インジケータを減光の状態にします。

電源OFFにより解除します。

### ②機能ボタン→エリア2ボタン

全てのブザー音を消します。

同じ操作(機能ボタン→エリア2ボタン)または、電源OFFで解除します。

### ③機能ボタン→エリア3ボタン

NTT自動車電話およびMCA業務無線のチャンネルステップを12.5KHzにします。

### ④機能ボタン→エリア4ボタン

NTT自動車電話およびMCA業務無線のチャンネルステップを25KHzにします。

### ⑤機能ボタン→エリア5ボタン

自動選局スタート機能が解除されます。

自動選局させたい場合はシークボタンを押してください。

電源OFFにより解除します。

### ⑥機能ボタン→エリア6ボタン

チャンネルメモリーされたチャンネルのみ受信します。

エリア選択ボタンおよび電源OFFにより解除します。

## 7. 特殊コマンド

電源スイッチと他のボタンとの組み合わせにより、特殊なはたらきをします。

各操作ボタンを押しながら電源スイッチをONにします。

### ①機能ボタン→電源ON

ハイ・バンド(760.00~944.00MHz)を受信します。

エリア選択ボタンおよび電源OFFで解除します。

### ②メモリーボタン→電源ON

ロー・バンド(347.00~440.00MHz)を受信します。

エリア選択ボタンおよび電源OFFで解除します。

### ③エリア選択ボタン(1~6のいずれか)→電源ON

指定したエリア順に自動選局します。

最大6エリア指定可能です。

電源OFFで解除します。

### ④エリア選択ボタン(1と4)→電源ON

ルーレットゲームになります。

エリア表示インジケータがルーレットしますのでエリア選択ボタンで止めます。

押した番号とルーレット番号が合うとブザー音が鳴ります。

ブザー音1回で当り。ブザー音2回ははずれ。

電源OFFで解除します。

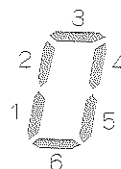
### ⑤エリア選択ボタン(2と5)→電源ON

エリア指定のサイコロゲームとなります。

エリア表示インジケータが1~6まで順に変わりますので、エリア選択ボタンで止めます。

止まったエリア番号で自動選局を開始します。

ルーレット番号(1~6)





## 7. 受信周波数一覧

### ⑥エリア選択ボタン(3と6)→電源ON

10分までのストップウォッチおよび6分までのダウンタイマーになります。

ストップウォッチはシークボタンによりスタート/ストップします。

ダウンタイマーの時間設定はエリア選択ボタンにより指定し、シークボタンを押すと、カウントダウンを開始します。

電源OFFで解除します。

### 8. その他の機能

#### ①受信中のチャンネルの周波数表示

メモリーボタンを押した後、エンターボタンを押すと、エリア表示インジケータに100MHz帯の数字が点滅します。その後はシークボタンを押すごとに1桁ずつ表示します。例えば3→8→0.→2→2→5と表示した場合は、380.225MHzを受信中です。

#### ②オートディマー機能

電池の消耗を少なくする為、5秒間無操作の場合は、エリア表示インジケータの表示を自動減光します。

#### ③充電表示機能

エリア表示インジケータが点滅し、アラーム音“ピッピッ”が2秒間隔で鳴っている場合は、電池が消耗していますので、付属のACアダプターを接続して、内蔵のニッカド電池の充電をおこなってください。

(充電時間：約10～12時間)

バンド	エリア	受信周波数(MHz)	受信バンド
A	1	870.00~885.00	NTT自動車電話基地局
	2	860.00~870.00	新電々系自動車電話基地局
	3	901.20~905.00	パーソナル無線
	4	380.20~381.30	小電力コードレス電話
	5	850.00~860.00	MCA業務無線
	6	352.75~400.00 422.20~422.30 メモリーされた周波数	道路公園無線、特定小電力トランシーバー、チャンネルメモリー(16チャンネル)
B	1	925.00~940.00	NTT自動車電話移動局
	2	915.00~925.00	新電々自動車電話移動局
	3	431.50~434.40 438.00~440.00	アマチュア無線
	4	347.70~349.15 355.50~357.50 361.00~362.50	警務系ポリス(新、旧)
	5	830.00~834.00 885.00~889.00	空港無線電話、航空機公衆電話、マリネットホン
	6	797.00~809.75 940.50~944.00	ワイヤレスマイク、放送中継無線
プライオリティ		350.10	速度取締連絡無線

## 8. 主な仕様

- 受信周波数……347.0~440.0MHz  
760.0~844.0MHz
- チャンネル  
ステップ……12.5KHz/20KHz/25KHz
- 検波方式……FMナローバンド
- 受信方式……ダブルスーパーヘテロダイン方式
- 受信感度……0.2 $\mu$ V 12dB SINAD
- メモリー数……チャンネルメモリー 16CH  
パスメモリー 16CH
- アンテナ……50 $\Omega$   
インピーダンス
- 電源電圧……DC12V(外部電源)  
DC3.8V(内蔵ニッカド電池)
- 消費電流……50mA(無信号時)
- 動作温度範囲……-10 $^{\circ}$ C~+60 $^{\circ}$ C
- 外形寸法……60(W) $\times$ 27(D) $\times$ 105(H)mm(突起部は除く)
- 重量……140g

### 付属品

マルチバンドアンテナ	1個
ニッカド電池パック	1個(本体内蔵)
ACアダプター(充電器兼用)	1個
イヤホン	1個
ハンドストラップ	1本

## 保証規定

- 1.保証期間内(お買上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 2.保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買上げの販売店に修理を依頼してください。
- 3.つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。  
(イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外修理された場合  
(ロ)お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷  
(ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及びその他天災地変などによる故障及び損傷  
(ニ)保証書のご提示がない場合  
(ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 4.本証書は、日本国内においてのみ有効です。

### 修理メモ